

令和5年度 課の事業一覧

組織名	総務局 総務課			重点項目	・自治基本条例の周知や市民参画を推進し、市民が主役の自治（市民自治）を確立する。 ・本庁舎の維持管理及び公用車の維持管理を行う。			
課長名	荒田 政二	コスト	事業費	令和5年度当初予算額(A)	846,118 千円	人件費	目安の金額	課長 4 人
				令和4年度当初予算額(B)	591,887 千円			係長 9 人
				増減額(A-B)	254,231 千円		241,000 千円	職員 14 人

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1			北九州市自治基本条例 推進事業	本市の自治の基本的ルールを定めた「北九州市自治基本条例」（2010年10月1日施行）の意義や理念などを多くの市民に理解してもらうため、周知等を行う。また、情報共有や市民参画の視点から業務を行い、条例の目指すまちづくりができるよう、職員向けの研修を行う。	・引き続き、市民向けの周知活動や職員に対する研修等を実施する。また、特に市政への関心が低い若い世代への周知を図るため、大学等への出前講演に取り組む。 ・令和6年度開催予定の自治基本条例評価検討委員会で必要となる項目の市民意識調査を実施する。	1,110	2,510	1,400
2			北九州市民憲章推進事業	自治会をはじめとするまちづくり団体などから構成され、市民憲章の普及啓発を行う「北九州市民憲章推進協議会」（任意団体）に対して、補助金を交付する。	・引き続き、団体に助成し、市民憲章の普及及び啓発のための企画及び実践活動を行う。	860	860	0
3			表彰関係事務	市表彰式の開催及び表彰受賞者への記念品を贈呈する。	—	2,931	1,531	-1,400
4		○	表彰関係事務(市制60周年)	市表彰式の開催に併せ、市制60周年記念式典を開催する。	—	6,069		-6,069
5			総務一般管理費	一般管理費	—	18,726	15,735	-2,991
6			総務局交際費	総務局交際費	—	100	100	0
7			庁舎等整備事業	本庁舎の設備維持に係る工事を行う。	—	26,100	26,100	0
8			本庁舎電気・機械等設備管理業務	本庁舎の電気・機械等設備の維持管理を行う。	—	68,390	79,600	11,210
9			本庁舎管理事務（公共）	本庁舎の維持管理に必要な清掃等の業務委託経費及び光熱水費	—	245,953	245,953	0
10		○	<新>本庁舎管理事務（光熱水費拡充分）	燃料費高騰による本庁舎の電気・ガス料金の追加経費（拡充分）	—		37,500	37,500
11			庁舎一般管理事務	庁舎管理のための一般事務費	—	3,218	2,825	-393

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	令和4年度 当初予算額 （千円）	令和5年度 当初予算額 （千円）	当初予算の 増減額 （千円）
12			車両管理事務（法律・条例）	庁舎管理所管の公用車の車検に伴う法定費用及び市全体の公用車に係る任意保険料	—	13,675	14,110	435
13			車両管理事務	庁舎管理所管の公用車の車検整備等費用及び燃料費		10,403	10,240	-163
14			室町駐車場管理事務（公共）	室町駐車場（公用車駐車部分）の管理経費	—	12,800	12,800	0
15			本庁舎警備業務	本庁舎の秩序の維持、災害及び盗難の防止等に従事する警備業者への業務委託経費	—	87,252	87,252	0
16			公用車における環境車の導入	「公用車への電動車導入方針」に基づき、2030年度までにすべての一般公用車について、電動車を導入する。総務局総務課が所管している共用車については、令和4年度以降、随時導入する。令和4年度は電気自動車を10台リース契約。	—	3,300	3,802	502
17	○		＜新＞公用車における環境車導入事業（第2期）	「公用車への電動車導入方針」に基づき、2030年度までにすべての一般公用車について、電動車を導入する。総務局総務課が所管している共用車については、令和4年度以降、随時導入する。令和5年度は電気自動車を15台リース予定。	—		2,200	2,200
18			本庁舎施設等長寿命化事業	令和3年3月に策定した「中長期修繕計画」に基づき、本庁舎等の長寿命化改修を計画的に実施し、予防保全型の維持管理に努めることで、建物を安全に管理し、ライフサイクルコストの縮減と支出の平準化を行う。	—		91,000	155,000
19	○		＜新＞本庁舎浸水対策事業	想定最大規模降雨（1000年に1度の確率）による紫川からの浸水により、本庁舎は床面から1mの高さまで浸水する。被災後から本庁舎仮復旧までの期間を短縮（6ヶ月→2ヶ月）するための減災対策を令和7年度末までに実施する。	—		103,000	103,000
20	○		＜新＞本庁舎1階等利活用策検討事業	誰でも気軽に利用可能な新たな公共空間を創出し、市民に開かれた市役所として情報発信するための拠点整備を行う。市役所本庁舎1階市民ホール及び16階展望室の新たな利活用策を検討し、実施する。	—		5,000	5,000
21	○		＜新＞官民連携による行財政改革推進事業	まちの成長につながる「未来への投資」を進めるため、民間人材を加えた「官民合同チーム」による行財政運営の総点検を行う。	—		40,000	40,000

令和5年度 課の事業一覧

組織名	総務局 法制課			重点項目	・法制課の所管業務に関する適正化・効率化を図る。				
課長名	河田 守胤	コスト	事業費	令和5年度当初予算額(A)	75,817 千円	人件費	目安の金額	課長	2 人
				令和4年度当初予算額(B)	138,114 千円			係長	5 人
				増減額(A-B)	-62,297 千円		110,500 千円	職員	5 人

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1			法制課管理事務	一般事務費	—	4,605	4,038	-567
2			例規データベース管理業務	市の例規データベースの保守、例規の制定改廃に伴うデータの更新及び例規集の追録を行う。	—	8,404	8,074	-330
3			メールセンター管理運営	本庁メールセンターでの庁内メール搬送及び郵便物の受付業務を信書便業者に委託する。令和2年度から令和5年度までの4年間の債務負担行為により事務を行っており、令和5年度が最終年度である。	—	19,301	19,301	0
4			自治体DX推進事業(文書管理システム)(重点)	「北九州市DX推進計画」の目標の一つとして掲げられている電子決裁の推進のために、文書管理システムの改修を行う。	・電子決裁率100%の実現に向け、文書管理システムを使って効率的に業務を行うためシステムの機能改善を行う。	30,700	13,000	-17,700
5			システム基盤追加整備事業(臨時)	北九州市システム基盤のOS変更に伴い、同システム基盤に搭載されている文書管理システム及び電子決裁システムについて新OSに対応できるように改修する。	・北九州市システム基盤に搭載されている文書管理システム及び電子決裁システムについて、基盤更新に伴う整備を行い、安定稼働を継続する。	49,800	6,500	-43,300
6	○		<新>文書管理システム及び電子決裁システム保守運用業務(所要額)	文書管理システム及び電子決裁システムの安定稼働のため必要な保守運用を行う。特に、職員が操作中に発生した問題等に、ヘルプデスクが即時に対応し、業務の遅滞を防止する。	・定期的なシステムの保守点検やメンテナンスに加え、職員のシステム操作中に発生したトラブル解消等の円滑な業務の処理のため、ヘルプデスクを活用した文書管理システム及び電子決裁システムの保守運用業務を行う。		9,100	9,100
7			文書管理システム及び電子決裁システム保守運用業務(裁量)			15,804	15,804	0
8		○	ウェブブラウザ改修事業	マイクロソフトインターネットエクスプローラーのサービス終了に伴い、職員ポータルと連携している文書管理システムのウェブ画面が適切に表示されるように改修する。	—	9,500		-9,500

令和5年度 課の事業一覧

組織名	総務局 文書館			重点項目	・情報公開・個人情報の開示、審査会の運営を行うとともに、情報の提供の推進に努める。 ・歴史的文化的価値を有する公文書、郷土の歴史に関する文書その他の記録を収集・保存し、市民の利用に供する。				
課長名	阪本 光	コスト	事業費	令和5年度当初予算額(A)	19,171 千円	人件費	目安の金額	課長	1 人
				令和4年度当初予算額(B)	15,478 千円			係長	2 人
				増減額 (A - B)	3,693 千円		61,500 千円	職員	4 人

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1			文書館維持管理費(公共)	文書館の維持管理	—	8,855	8,855	0
2			文書館運営経費	文書館の運営 情報公開・個人情報保護・行政不服審査会の運営	—	5,223	5,116	-107
3			文書館水道設備改修事業	水道設備改修の実施設計	—	1,400	5,200	3,800

令和5年度 課の事業一覧

組織名	総務局 平和のまちミュージアム事務局		重点項目	・平和事業の実施により、平和の尊さへの理解を促進する。				
課長名	居蔵 邦幸	コスト	事業費	令和5年度当初予算額(A)	49,185 千円	人件費	目安の金額	課長 1 人
				令和4年度当初予算額(B)	52,000 千円			係長 1 人
				増減額(A-B)	-2,815 千円		44,000 千円	職員 3 人

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1			平和のまちミュージアム管理・運営事業（公共）	「北九州市平和のまちミュージアム」の運営にかかる受付監視、施設保守・保安業務、光熱水費等の各種経費を計上し、円滑な館の運営に取り組む。	—	15,237	15,237	0
2			平和のまちミュージアム管理・運営事業（裁量）	「北九州市平和のまちミュージアム」への幅広い世代の来館を図るため、近隣施設と連携した取組み等を進めるとともに、戦争体験や戦時資料の保存・継承に務める。	・平和のまちミュージアムと近隣施設（議会棟、小倉城等）を訪問する市内の小学6年生を対象とした「平和のまちスタディツアー」を引き続き実施する。 ・近隣市町村の教育委員会、学校、旅行会社等へPRを行い、市外からの修学旅行等の来館者増に努める。 ・類似施設等と連携した企画展や講座等を実施するとともに、SNS等によるPRを行い、来館者増に努める。	24,763	23,948	-815
3		○	平和のまちミュージアム管理・運営事業（債務）	「北九州市平和のまちミュージアム」の円滑な施設運営と来場促進に向けた様々な取組みを行う。	—	2,000		-2,000
4			非核・平和推進事業	本市の平和に対する基本的姿勢を示す「北九州市非核平和都市宣言」に込められた平和への願いを市民に伝えるため、また、悲惨な戦争の記憶を風化させることなく次の世代に伝えるため、「嘉代子桜・親子桜」の植樹や長崎市への市民派遣など、平和に関連した様々な事業を実施する。	・長崎市が主催する「青少年ピースフォーラム」への小中高校生の派遣、親子で平和の尊さを考えるための「長崎市平和派遣事業」等について、引き続き新型コロナウイルス対策を徹底したうえで実施する。 ・「嘉代子桜・親子桜」については、未植樹の高校等への植樹を進めるほか、植樹済の学校についても、生育調査・補植を実施する。	10,000	10,000	0

令和5年度 課の事業一覧

組織名	総務局 行政経営課			重点項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な行政課題に対応しうる財政基盤を築き、事業の「選択と集中」を図るため、北九州市行財政改革大綱及び推進計画に基づき、更なる行財政改革に取り組む。</li> <li>・外部の有識者で構成する「北九州市行財政改革推進懇話会」において、行財政改革の実施状況等を検証し、その取組を着実に推進する。</li> </ul>				
課長名	徳永 篤司	コスト	事業費	令和5年度当初予算額(A)	20,020 千円	人件費	目安の金額	課長	2 人
				令和4年度当初予算額(B)	24,707 千円			係長	3 人
				増減額 (A－B)	-4,687 千円		105,500 千円	職員	7 人

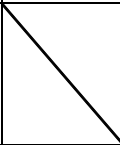
No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1			行財政改革の推進（裁量）	<p>【行財政改革の推進】</p> <p>「北九州市行財政改革大綱」及びその具体的な取組を示す「推進計画」に基づき、更なる行財政改革に取り組む。</p> <p>&lt;大綱に掲げる4つの柱&gt;</p> <p>①簡素で活力ある市役所の構築</p> <p>②外郭団体改革</p> <p>③官民の役割分担と持続的な仕事の見直し</p> <p>④公共施設のマネジメント</p> <p>【外郭団体改革の推進】</p> <p>「市の政策の一翼を担い、市が直接担うより効果的かつ効率的な事業運営ができ、民間委託等でできないまたは適さない」という役割に照らして、外郭団体の運営が妥当であるか、絶えず見直しを行っていく。</p> <p>【行政評価】</p> <p>基本計画を構成する主な事業について、PDCAサイクルによる見直しを行い、行政サービスの質の向上を図る。</p> <p>【内部統制】</p> <p>地方自治法第150条に基づき、組織目的の達成を阻害する事務上の要因をリスクとして識別及び評価し、対応策を講じることで、事務の適正な執行を確保する。</p>	<p>・【行財政改革の推進】</p> <p>行財政改革の実施状況等について広く有識者から意見を聴取するため、北九州市行財政改革推進懇話会を開催し、行財政改革の実施状況等の検証を行った。今後、検証結果を踏まえ、行財政改革の取組を着実に推進していく。</p> <p>・【外郭団体改革の推進】</p> <p>ミッションを踏まえた成果指標などを基に、ミッション遂行状況を評価・検証し、事業等の改善を行うPDCAサイクルによる事業運営を引き続き推進していく。また、ミッションの遂行状況や経営状況の評価等について、外郭団体評価会議において、広く有識者から意見を聴取していく。</p> <p>・【行政評価】</p> <p>新たな基本計画に沿って施策が実施されるよう行政評価の見直しを行う。また、事業の効果的・効率的な実施を通じて質の高い行政を実現できるよう努めていく。</p> <p>・【内部統制】</p> <p>リスクの識別・評価及び対応策の実施により、引き続き事務の適正な執行の確保に努めていく。</p>	6,528	6,958	430
2	○		<新>行財政改革の推進（臨時）	多様化する市民ニーズや社会・経済状況の変化による新たな課題に対応しながら、本市の成長を促す政策を推進するため、更なる行財政改革の推進を図る。	—		5,000	5,000

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
3			民間活力導入の推進	北九州市行財政改革大綱及び推進計画に基づき、更なる行財政改革に取り組む。 ・所管局が行った指定管理者に対する評価に関して、第三者的立場から検証を行うため、指定管理者の評価に関する検討会議を開催する。 ・「民間にできることは民間に委ねる」という考え方にに基づき、これまで市が直接行ってきた業務等を、市が行う必要性やサービス水準、コスト等の視点から十分検討する。その上で、行政サービス水準の維持・向上やコスト削減等を図ることができるものは、積極的に民間委託や指定管理者制度導入などを進める。	・引き続き、行政サービス水準の維持・向上やコスト削減等を図ることができるものは、積極的に民間委託や指定管理者制度導入などを進める。	3,279	3,062	-217
4			公民連携推進事業	民間事業者や広告代理店と連携した「提案型ネーミングライツ制度」を導入する。 さらに、公民連携ワンストップ窓口を設置し、民間の知見を活用した地域課題の解決や新たな事業機会の創出を図る取組を推進する。	・令和5年度から本格実施する、公民連携総合窓口の運営にあたり、公民連携アドバイザーを活用した内部の意識醸成や、民間サービスを活用した公民連携の推進を図り、事業者からより良質な提案を受けられるよう取り組む。 ・「提案型ネーミングライツ制度」については、パートナー代理店との連携により、導入施設の拡大を図る。	6,100	5,000	-1,100
5		○	業務量調査・分析業務	市役所におけるDX推進の前提となるBPR（業務改革）を推進するにあたり、全庁的な業務量調査の結果を基に、行財政改革の観点から、業務分析や事務事業の整理を行う。	—	8,000		-8,000
6		○	eラーニングシステムのサーバ移行	デジタル市役所推進室が令和5年度に予定しているシステム基盤更新に伴うWindowsServer2019への更新に対応するため、新システム基盤への移行作業及びOSの変更等を実施するもの。	—	800		-800



令和5年度 課の事業一覧

組織名	総務局 女性の輝く社会推進室			重点項目	・女性の活躍による経済社会の活性化や、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を推進する。 ・子育て・介護など、多様な生活背景を持つ職員が働きやすい職場環境を整備し、性別問わず職員一人ひとりが持てる力を最大限発揮し、キャリアを形成することを支援する。 ・男女共同参画基本計画に基づく計画的・総合的な事業の実施 ・あらゆる分野における政策・方針決定過程への女性の参画を拡大すると共に、男女共同参画意識が浸透した社会、地域の実現を目指す。 ・女性に対する暴力等人権侵害行為の根絶と、生涯を通じた女性の健康支援を推進する。					
	課長名	田端 亮平	コスト		事業費	令和5年度当初予算額(A)	410,190 千円	人件費	目安の金額	課長
令和4年度当初予算額(B)				470,982 千円		96,500 千円	係長		4	人
増減額（A－B）				-60,792 千円			職員		6	人

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1			北九州市職員女性活躍・ワークライフバランス推進プログラム推進事業（裁量）	令和元年5月策定の特定事業主行動計画「北九州市職員女性活躍・ワークライフバランス推進プログラム（令和元年度～令和5年度）」に基づき、女性職員のキャリア形成及び職員のワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む。	・女性職員を対象としたキャリア研修やメンター研修を通じて、女性職員のキャリア形成の意識付けを行うとともに、能力不安・両立不安の解消に向けた支援を行う。 ・女性役職者の長期的・計画的な育成のため、係長級及び課長級を対象とした研修等を実施し、女性管理職等の比率向上を目指す。 ・ワーク・ライフ・バランス推進関連研修等の実施を通じて、イクボス実践によるマネジメント力強化と男性職員の育児参画をともに着実に進めていくことで、市職員の更なる女性活躍とワーク・ライフ・バランスの推進を図る。	4,520	4,340	-180
2			ワーク・ライフ・バランス推進事業（裁量）	「北九州市女性活躍・ワークライフバランス推進協議会」を踏まえ、企業等の取組支援や幅広い広報啓発を行う。	・「北九州市女性活躍・ワークライフバランス推進協議会」での情報を活用し、企業等への取組支援を継続して実施するとともに、中小企業を中心に女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進に係る助成金等の情報提供や研修講師派遣を充実させる。	7,475	6,911	-564
3	○		<新>女性の視点を活かしたまちづくり推進事業	就労、結婚、育児などの様々なライフイベントやライフステージを通じて、女性の視点から見えてくる課題について幅広く意見聴取等を行い、女性が持てる力を十分に発揮でき、活躍し続けるまちづくりを進めるための方策を検討する。	—		3,000	3,000
4			ウーマンワークカフェ北九州運営事業（公共・その他）	女性の就職・子育てとの両立・創業などをワンストップで支援する「ウーマンワークカフェ北九州」を運営する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きウーマンワークカフェ北九州を拠点としたワンストップでの女性の就労支援を行ううえで、より一層の利用促進に向け、戦略的で効果的な広報を行う。また、特に子育て中の女性の就業意識の向上に資するよう、オンライン相談の拡充や伴走支援型のキャリアアカウンセリングの新規実施を通して、子育てとの両立など女性の抱える不安や悩みに寄り添った支援の強化を図る。</li> </ul>	3,966	3,888	-78
5			ウーマンワークカフェ北九州運営事業（臨時）			20,000	20,000	0
6			ウーマンワークカフェ北九州運営事業（指定）			7,650	7,650	0
7			ウーマンワークカフェ北九州情報システム運用保守事業（債務）			1,000	740	-260



No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
8			女性輝き！推進事業 (裁量)	働く女性・働きたい女性が、各々の希望に応じ、その個性と能力を十分に発揮し輝けるよう、就職・子育てとの両立支援、創業支援、キャリアアップ等、幅広く女性の就業を支援するほか、ウーマンワークカフェ北九州の新規利用者の獲得に向けた更なる周知広報を図る。	・働く女性や働きたい女性が、各々の希望に応じ、その個性や能力を十分に発揮して活躍できるよう、引き続き幅広い支援を行う。子育て中の女性の就労支援や女性のキャリアアップ、起業支援などについては、常に最新の社会情勢や女性特有のニーズを踏まえた企画を行い、より効果的な方法を工夫して行う。	11,092	10,248	-844
9			女性活躍推進行政一般管理	女性活躍推進課事務費	—	958	1,190	232
10			次世代活躍応援事業 (裁量)	小中高生の固定的性別役割分担意識の払拭のため、市内高等教育機関と企業が連携して行う、研究・職場体験プログラムの提供など、多様な進路選択を促進する取組を支援する。	・女性の活躍が進んでいない分野への若年層の進路選択の動機づけを行うため、市内高等教育機関と市内企業が連携して、子ども・学生の成長段階に合わせた研究・職業体験プログラムの提供や女性ロールモデル提供などに取り組むことを支援する。	2,200	2,200	0
11		○	北九州イクボス同盟推進事業（重点）	イクボス推進の取組を市内全域に拡大するため、「働きやすいまち北九州」を目指して企業・団体トップにより設立した「北九州イクボス同盟」の普及・充実に図り、市内企業の働き方改革を推進する。	・市内にイクボスをさらに普及させるための研修会等を引き続き実施し、「イクボス」及び「北九州イクボス同盟」の認知度向上や、働き方改革の機運のさらなる醸成を図る。	3,500		-3,500
12			北九州イクボス同盟推進事業（裁量）			5,955		0
13		○	テレワーク推進事業 (債務負担)	仕事と私生活を両立する仕組みづくりのひとつとして、情報通信技術を活用した柔軟な働き方の整備を推進するため、テレワークを実施する。	—	5,100		-5,100
14			男女共同参画基本計画推進事業	男女共同参画基本計画の着実な推進のため、男女共同参画審議会などを行うとともに、DVに対する広報・啓発を行う。	・「第4次北九州市男女共同参画基本計画（令和元年度～令和5年度）」に基づき、本市の男女共同参画社会の形成を着実に推進するとともに、「第5次北九州市男女共同参画基本計画（令和6年度～令和10年度）」の策定を行う。 ・地域において、女性の視点や知恵を活かすことを地域の活性化や住みよさの向上へつなげるため、地域における女性参画を促し、リーダーとなる人材を育てていく。 ・事業者・地域等における方針決定過程への女性の参画拡大を進める。 ・女性活躍を推進するため、男女共同参画センターにおいて女性の就業に関するスキル取得等の人材育成に資する事業や、男性の家事参加などに関する事業を実施する。 ・若年層向けのデートDV予防事業の広報・啓発など、DVに対する更なる啓発に取り組む。 ・（公財）アジア女性交流・研究フォーラムにおいて、行財政改革大綱を踏まえ、事業の見直し等に取り組むとともに、成果を市民に見える形で還元する。	5,853	5,288	-565
15			地域における男女共同参画推進啓発事業	地域における広報啓発事業を通して、男女共同参画推進社会の実現を目指していく。		3,421	3,508	87
16			（公財）アジア女性交流・研究フォーラム事業	男女共同参画推進という市の政策課題に対応するため、国際的な視点等も加えながら様々な事業を推進する。		39,000	39,000	0
17			男女共同参画センター管理運営事業（指定管理）	男女共同参画センターにおいて、施設運営をはじめ、男女共同参画の推進のため、講座や相談事業など、様々な事業を行う。		244,088	244,088	0
18			男女共同参画センター施設整備事業	男女共同参画センターの施設整備を行う。	—	2,890	2,890	0
19			男女共同参画一般管理	男女共同参画推進課事務費	—	614	794	180

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
20		○	男女共同参画センター施設整備事業（男女共同参画センターホール舞台照明設備改修工事）	男女共同参画センター照明設備の改修工事を行う。	—	79,200		-79,200
21		○	SNS等を活用した若年女性対策強化事業	コミュニケーションツール「LINE」を活用した相談業務を実施し、若年女性やこれまで相談に至らなかった方へ相談を促す。	—	3,000		-3,000
22		○	困難を抱える女性に寄り添う緊急支援事業	コロナ禍で様々な課題・困難を抱える女性に対し、行政だけでは手が届きにくい支援をNPO等の知見を活用し効果的に実施するとともに、団体との連絡会議や研修の開催及び相談支援の一環として生理用品の提供を実施する。	—	17,000		-17,000
23			ジェンダー平等の実現に向けた調査・研究事業	SDGs未来都市として、ジェンダー平等や女性活躍推進、地方創生等の取組をさらに加速させるため、本市の現状と課題について、調査・研究を行う。	・市の政策課題を踏まえた調査研究を行い、その研究成果を市民に還元していく。	2,500	2,500	0
24	○		<新>男女共同参画センター施設整備事業（大手町ビル外壁補修工事）	男女共同参画センターの外壁補修工事（基本設計・実施設計）を実施する。	—		4,800	4,800
25	○		<新>男女共同参画センター施設整備事業（大手町ビル空調工事）	男女共同参画センターの空調工事（基本計画）を実施する。	—		15,000	15,000
26	○		<新>男女共同参画センター施設整備事業（大手町ビル駐車場スロープ漏水工事）	男女共同参画センター地下駐車場スロープの漏水工事（実施設計）を実施する。	—		1,200	1,200
27	○		<新>女性のためのつながりサポート事業	コロナ禍で様々な課題・困難を抱える女性に対し、行政だけでは手が届きにくい支援をNPO等の知見を活用し効果的に実施するとともに、「生理の貧困」対策のための生理用品の提供や、通年でのSNS相談窓口の設置を行い、問題解決の機会創出を図る。	【事業統合：困難を抱える女性に寄り添う緊急支援事業・SNS等を活用した若年女性対策強化事業】 ・引き続きコロナ禍において顕在化した女性の孤独・孤立の問題に対応するためアウトリーチ型の支援を行うとともに、SNS相談窓口を通年で設置し相談者の不安や悩みの解消に繋げる。		20,000	20,000
28	○		<新>男女共同参画センター管理運営事業（光熱水費高騰対応分）	エネルギー価格の上昇等により男女共同参画センターの光熱費支払に係る経費が不足することが見込まれるため、年度末までの支出見込額のうち不足分を臨時的経費として追加支出する。	・光熱費の高騰に伴う必要経費への対応により指定管理者の施設管理運営を適切に行うとともに、引き続き施設の節電等に取り組む。		5,000	5,000

令和5年度 課の事業一覧

組織名	総務局 人事課			重点項目	・簡素で活力ある市役所の構築に向け、職員の公務員精神の涵養とモチベーションの向上を図るとともに、職場の人材育成基盤の強化や客観性及び納得性のある人事評価制度の構築を進める。				
課長名	大庭 英明	コスト	事業費	令和5年度当初予算額(A)	125,410 千円	人件費	目安の金額	課長	3 人
				令和4年度当初予算額(B)	133,484 千円			係長	9 人
				増減額(A-B)	-8,074 千円		267,000 千円	職員	19 人

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1			職員生産性向上事業	時間外削減で成果を出した部署や、積極的な時間外削減の取組を行う部署の更なる業務改善や効率的な業務遂行を支援する。	—	3,000	2,900	-100
2			人事評価システムリース経費	行財政改革調査会最終答申に基づき導入した人事評価システムのリース経費(R3~R7)	—	5,742	5,742	0
3			人事管理事務	人事管理に係る一般事務費	—	10,368	10,367	-1
4			職員表彰事務	永年勤続表彰者、退職者への表彰状、感謝状贈答等	—	3,066	2,966	-100
5			訴訟事務	職員に対する行政処分について訴訟事件となったものの事務処理	—	797	797	0
6			人事評価制度の再構築	行財政改革調査会最終答申に基づき、人事評価制度の見直しを行うもの。	—	1,950	1,810	-140
7			特別転職選考による転職者向け研修	職員が職務を適切に遂行する上で必要となる知識・技能の習得を目的とした職場外研修を実施するもの。	—	1,036	726	-310
8			職員提案事業	職場改善事例又は政策に関するアイデアを広く職員から募集する。	—	435	435	0
9			人材育成管理事務	一般事務費	—	260	260	0
10			職場育成基盤整備事業	局・課単位で行う、職員の育成指導や職員間のコミュニケーション活性化、メンタルケアの取組みなど、各職場における人材育成力を強化する。	—	3,070	2,920	-150

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
11			訴訟事務	分限処分に係る係争費用	—	733	733	0
12		○	公務員定年引上げに係るシステム改修業務(人事)	地方公務員の定年引上げに対応するため、人事給与システムの任用等に係る部分の改修を行うもの。	—	8,300		-8,300
13		○	<新>職員自学力向上事業	「職員のリスクリテラシー推進」及び「管理職のマネジメント能力強化」に向け、オンライン動画学習サービスの導入により、職員が自学に積極的に取り組む、組織風土の醸成を図るもの。	—		2,000	2,000
14			一般研修事業	職員研修実施にかかる経費	—	4,046	4,046	0
15			派遣研修事業	高度で専門的な知識・経験の習得や多様な人的交流を目的とし、国・大学院等に職員を派遣する。	・職員の能力向上を図るため、引き続き専門研修機関（市町村アカデミー、国際文化アカデミー）へ職員を派遣する。	914	914	0
16			省庁派遣研修事業		・派遣予定者数が増加するものの、旅費の算定方法を一部見直し、予算額はほぼ横ばい。	30,500	30,500	0
17			研修所維持管理事務(公共)	職員研修所の維持管理にかかる経費	—	20,220	20,220	0
18			研修所管理事務	一般事務費	—	4,654	4,281	-373
19			職員資格取得支援事業	日常の業務遂行（OJT）の中では得難い、高度な専門性を習得できる「資格取得」「講習会等への参加」について、希望する職員に対して必要経費の一部を助成する。	・新たな自己啓発支援事業の立ち上げに伴い、本事業を見直し、一部削減した。	2,300	1,700	-600
20			職員研修業務委託事業（令和3年度～令和5年度）	人材育成方針に則り、人事評価項目等の人事制度と連動した、実効性の高い研修を計画的・体系的に実施する。	・令和3年度～令和5年度職員研修運営等業務委託の最終年度を迎え、民間事業者の高い専門性や効率的な運営等のノウハウを活用し、職員の職務遂行能力や管理監督者のマネジメント能力、組織パフォーマンスの向上を図る。	32,093	32,093	0

令和5年度 課の事業一覧

組織名	総務局 給与課			重点項目	・職員に対する給与の支給を適正に行うこと ・職員の健康保持、増進に向けた取り組みをすすめること					
課長名	高村 真	コスト	事業費	令和5年度当初予算額(A)	17,745,120 千円	人件費	目安の金額	課長	2	人
				令和4年度当初予算額(B)	19,013,299 千円			係長	6	人
				増減額 (A－B)	-1,268,179 千円			職員	17	人

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1			給与管理事務費	給与支給にかかる経常的経費	—	5,442	7,422	1,980
2			人事給与システムの改修業務	給与改正等に対応するためのシステム改修にかかる費用	—	16,568	14,287	-2,281
3			定期健康診断等	地方公務員法、労働基準法及び労働安全衛生法の規定に基づく職員の健康管理のための事業	—	127,483	128,732	1,249
4			安全衛生管理費	安全衛生事業実施に係る事務経費	—	5,964	5,775	-189
5			北九州市職員文化体育協議会交付金	地方公務員法第42条に基づき、職員の元気回復のために文化体育事業を実施	—	410	410	0
6			トレーニングルーム施設維持管理	トレーニングルーム施設の維持管理費	—	2,297	2,297	0
7			総務職員費	総務局等の職員に対する人件費	—	18,668,184	17,519,017	-1,149,167
8			特別職議員報酬等審議会	条例に基づく特別職議員報酬等審議会開催に伴う経費	—	551	551	0
9			システム基盤追加整備に伴うシステム改修等業務	システム基盤追加整備に伴う人事給与システム及び庶務事務システムの改修経費	—	149,700	66,629	-83,071
10		○	短時間勤務職員の共済組合加入に伴うシステム改修業務	地方公務員等共済組合法の改正により、令和4年10月から短時間勤務職員が共済組合に加入することに伴うシステムの改修経費	—	29,700		-29,700
11		○	公務員定年引上げに係るシステム改修業務	地方公務員の定年引上げに伴う、人事給与システムの改修経費	—	7,000		-7,000

令和5年度 課の事業一覧

組織名	総務局 福利課			重点項目	・退職者にかかる退隠料等の支払を適正に行うこと					
課長名	福岡 昌子	コスト	事業費	令和5年度当初予算額(A)	18,329 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
				令和4年度当初予算額(B)	6,429 千円			係長	5	人
				増減額 (A - B)	11,900 千円		181,500 千円	職員	16	人

No.	新規	廃止	事業名	事業概要	R5年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和4年度 当初予算額 (千円)	令和5年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1			退隠料等事務	昭和37年11月30日以前の退職者にかかる退隠料等の支払事務	—	6,429	6,429	0
2	○		<新>システム基盤追加整備事業（福利厚生システム）	システム基盤のサポート終了に伴い、新システム基盤に対応するための改修・移行作業等	—		11,900	11,900